

教 育 課 程 等 の 概 要

（国際食資源学院 国際食資源学専攻（博士後期課程））

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
必修科目	ワンダーフォーゲル実習VI	1・2・3通	2					○	5	7	3	1			集中・共同
	小計（1科目）	—	2				—		5	7	3	1	0	兼0	
	食資源学演習Ⅲ	1～3通	4				○		6	7	3	1			
	食資源学研究Ⅱ	1～3通	8					○	6	7	3	1			
	小計（2科目）	—	12				—		6	7	3	1	0	兼0	
合計（3科目）		—	14				—		6	7	3	1	0	兼0	
学位又は称号		博士（食資源学）		学位又は学科の分野				農学関係							
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
必修科目14単位を修得し、かつ、本学院の行う博士論文の審査及び試験に合格すること。							1学年の学期区分			4期					
							1学期の授業期間			8週					
							1時限の授業時間			90分					

教育課程等の概要																
（既設 国際食資源学院 国際食資源学専攻（修士課程））																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
必修科目	総論科目	食資源学総論	1①	2			○			4			1		兼2	オムニバス
		食資源生産論	1①	2			○			5	1	1	1		兼4	オムニバス
		食資源環境論	1①	2			○			2	1	1	1		兼4	オムニバス
		食資源ガバナンス論	1①	2			○			2	2	1			兼3	オムニバス
		食資源倫理論	1③④	1			○			1						
	小計（5科目）	—	9			—			8	4	3	2		兼12		
	ワークショップ科目	ワンダーフォーゲル実習Ⅰ	1②③	1					○	1	1		1			集中・共同
		事前・事後演習Ⅰ	1②③	1				○		1	1		1			共同
		ワンダーフォーゲル実習Ⅱ	1④	1					○	1		2				集中・共同
		事前・事後演習Ⅱ	1④	1				○		1		2				共同
	小計（4科目）	—	4			—			2	1	2					
	演習・研究科目	食資源学演習Ⅰ	1通	2				○		9	8	3	2			
食資源学演習Ⅱ		2通	2				○		9	8	3	2				
食資源学研究Ⅰ		2通	4					○	9	8	3	2				
小計（3科目）		—	8			—			9	8	3	2				
選択必修科目	テーマ科目	生物生産技術特論	1③	1			○			2		1			兼3	オムニバス
		ポストハーベスト技術特論	1④	1			○			1					兼2	オムニバス
		持続的生産特論演習	1②	1				○		2	1		1		兼3	オムニバス
		食と健康特論演習	1②	1				○		1					兼6	オムニバス
		環境資源特論	1①	1			○			1	2	1			兼2	オムニバス
		水土管理特論	1②	1			○			2	2	1	1			オムニバス
		環境解析とモニタリング特論演習	1③	1				○		1	4	1	1		兼2	オムニバス
		環境管理特論演習	1④	1				○		2	3	1	1		兼2	オムニバス
		国際食資源経済学特論	1③	1			○			1	1	1				オムニバス
		分析経済学特論	1②	1			○			1						
		比較農村社会学特論演習	1④	1				○			2					オムニバス
		食資源統計学特論演習	1①	1				○		1						オムニバス
小計（12科目）	—	12			—			8	7	3	2		兼16			
ワークショップ科目	ワンダーフォーゲル実習Ⅲ	2通	1					○	2	2	1				集中・共同	
	事前・事後演習Ⅲ	2通	1				○		2	2	1				集中・共同	
	ワンダーフォーゲル実習Ⅳ	2通	1					○	1	1					集中・共同	
	事前・事後演習Ⅳ	2通	1				○		1	1					集中・共同	
	ワンダーフォーゲル実習Ⅴ	2通	[1]					○	9	8	3	2			集中・共同	
	小計（5科目）	—	5			—			9	8	3	2				
選択科目	食資源特別講義	国際実践力演習	1①②	2				○			1					
		国際プレゼンテーションスキル演習	1③④	2				○			1					
		文系のための自然科学基礎論	1①②	2			○				1					
		国際理解	1通	1			○								兼1	集中
		GMO, 食, 農業	1・2③	1			○			1	1					オムニバス
		農業の多様性	1・2②	1			○			1			1		兼2	オムニバス
		動物生殖工学	1・2③	1			○			1					兼2	オムニバス
		バイオエネルギー	1・2④	1			○						1		兼2	オムニバス
		資源回収型サニテーション	1・2④	1			○			1			1			オムニバス
		水・エネルギー・食料連環	1・2④	1			○			1			1			オムニバス
		経済政策論	1・2②	1			○			1						
		応用計量経済学	1・2④	1			○					1			兼6	オムニバス
		農業技術開発論	1・2③	1			○					1			兼2	オムニバス
		農資源経済学	1・2②	1			○					1			兼4	オムニバス
		食文化論	1・2通	1			○				1				兼1	集中・オムニバス
		漁業管理論	1・2③	1			○			1					兼2	オムニバス
		ワイン生産学	1・2通	1				○			1				兼1	オムニバス
		気候変動と生態系	1・2④	1				○			1				兼1	オムニバス
		近代農村政治史	1・2②	1				○			1					
		農村グローバル政治史	1・2③	1				○			1					
		食資源経済統計学	1・2②	1				○					1		兼2	オムニバス
		アフリカの未来の農村社会	1・2通	1				○							兼1	集中
小計（22科目）	—	25			—			6	5	1	2		兼26			
合計（51科目）			—	21	42			—	9	8	3	2		兼45		
学位又は称号		修士（食資源学）			学位又は学科の分野			農学関係								
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
必修科目から21単位以上、選択必修科目（テーマ科目）から6単位以上、選択必修科目（フィールドワーク科目）から2単位以上合計33単位以上修得し、かつ、本学院の行う修士論文又は特定の課題についての研究成果の審査及び試験に合格すること。単位数の数字に[]を付している授業科目は、複数の講義題目により行われ、それぞれ一の授業科目として履修することができる。								1学年の学期区分			4期					
								1学期の授業期間			8週					
								1時限の授業時間			90分					